

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	北
学校名	大淀小学校
学校長名	岩田一博

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大淀小学校では、第6学年 101名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

算数、理科の2教科で全国および大阪府の平均を上回る結果でした。特に算数では、「C測定」と「A数と計算」の定着が見られました。授業内容を深く理解し、主体的に学習に取り組む姿勢が基本・応用力が必要な領域の定着に繋がっています。一方、国語では「知識・技能」だけでなく「思考力・表現力」といった応用的な部分で課題が見られました。文章内容を正確に把握し、それを要約したり、適切な言葉で表現したりする活動により取り組む必要があるのではないかと考えています。知識や意欲はあるものの、「わからないことをとばさずに調べる」習慣が低い傾向があり、粘り強く取り組むところに課題があるのではないかと考えます。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

### 〔国語〕

指示語や筆者の考えを問う問題など、文章内容を正確に把握し、それを要約したり、適切な言葉で表現したりする記述問題で、全国平均を下回る傾向が見られます。

### 〔算数〕

「数と計算」「測定」における基礎的な知識・技能の定着が非常に高く、「数直線上の分数」や「和と差から求める長さ」といった、やや応用的な思考力や単位の捉え方が必要な問題でも、全国を大きく上回る高い正答率でした。

### 〔理科〕

実験結果からの考察や記述が求められる問題や、力の働きに関する問題で正答率が低くなる傾向が見られます。知識の理解だけでなく、科学的な思考力や考察力、表現力をさらに伸ばす余地があるのではないかと考えています。

質問調査より

「算数の勉強が好き」「自分の考えをまとめ、発表する」力は全国平均を上回っています。言語活動や対話的な学びを重視した授業展開を行ってきたところが表現力・思考力の育成に結びついているものと考えます。一方で、主に学習内容の活用と基礎的な学習習慣（読書・家庭学習）において、全国平均を下回る傾向が見られます。また、算数の知識を日常生活や他の学習で活用できているという意識が全国平均よりも低いです。知識の「定着」から「活用」に結びついていないものと考えます。活用に対する実感を持つていない子どもが一定数いるので、継続した取組が必要と考えます。また、読書時間が「30分以上」と回答した児童の割合が全国平均と比較して13ポイント以上も低く、読書習慣の定着が課題です。家庭学習時間が60分以上と回答した児童の割合が全国平均を下回っており、家庭学習の習慣化も課題です。読書時間と合わせて、学校と家庭が連携し、規則的な学習習慣を確立に向けて取り組みたいと考えています。

## 今後の取組(アクションプラン)

### 1. 算数・理科の強みを他教科へ展開する

算数・理科で実践している「なぜそうなるか」を問い合わせ、知識を定着させる具体的な指導を（例：具体的な操作活動、図やグラフを活用した指導など）を教科横断的に取り組めるように進めていきます。また、記述指導を意図的に行い、国語で求められる思考力・表現力との連携を図ります。

### 2. 国語の記述力・読解力を優先的に強化する

文章の土台となる指示語・接続語が指し示す内容を常に確認する習慣をつけ、文章全体の論理構造を正確に捉えられる学習を進めていきます。また、筆者の考えや要約など、思考力を問う記述問題に対して、ステップを踏んだ指導を進めます。

### 3. 理科の考察・表現力を向上させる

実験・観察後に「わかったこと」だけでなく、「なぜそのような結果になったのか」「次にどんな疑問が生まれたか」といった考察のプロセスを、具体的に記述させる活動（ミニレポート、振り返りシートなど）を進めます。

## 【 全体の概要 】

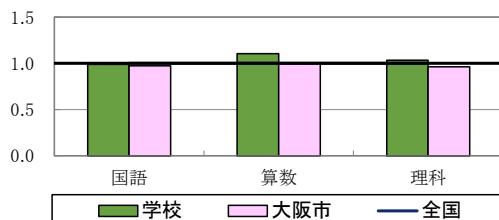
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	66	64	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

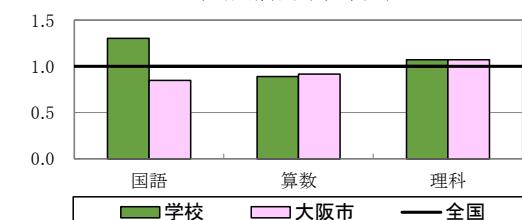
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.3	3.2	3.0
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



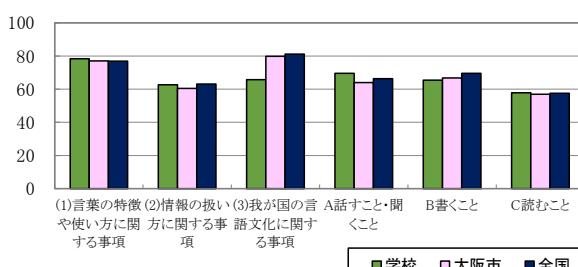
## 【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	2	78.4	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に関する事項	1	62.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	65.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	69.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	65.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	57.8	56.9	57.5

## 【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	69.9	62.7	62.3
B 図形	4	56.2	56.4	56.2
C 測定	2	54.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	57.5	58.2	57.5
D データの活用	5	62.6	61.9	62.6

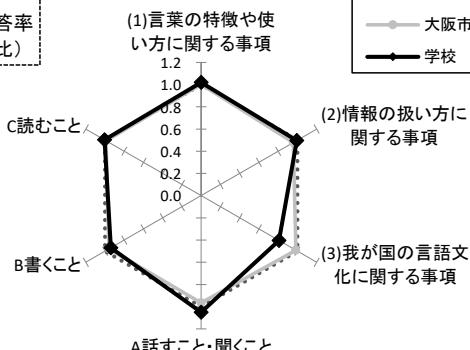
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



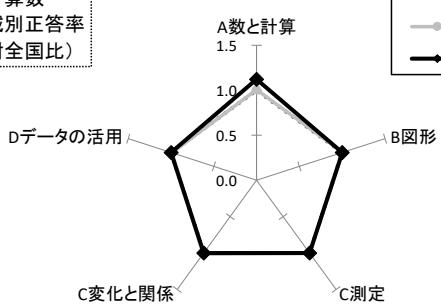
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

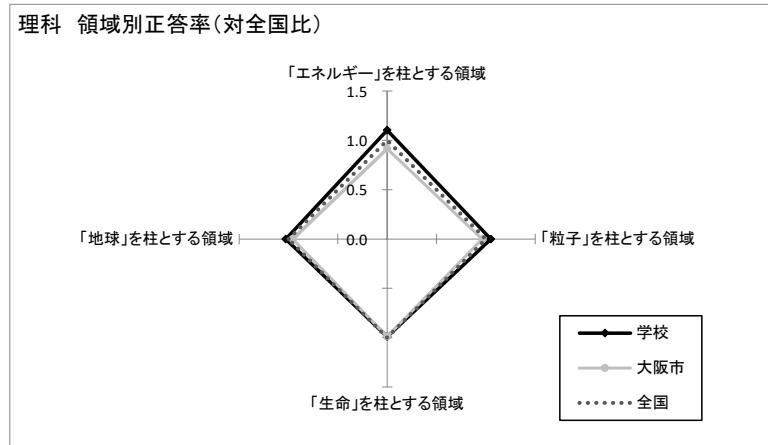
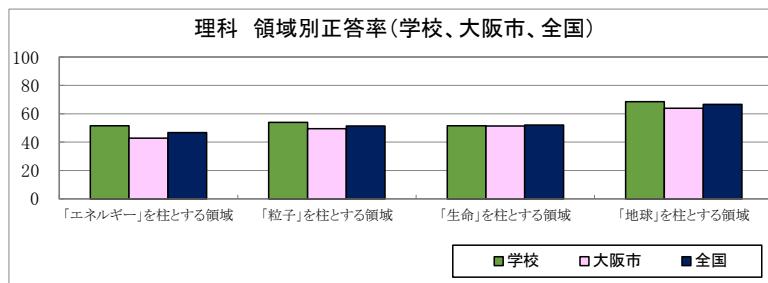


算数  
領域別正答率  
(対全国比)



## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	51.5	42.7	46.7
	6	54.0	49.5	51.4
B 区分 「粒子」を 柱とする領域	4	51.5	51.4	52.0
	6	68.5	63.8	66.7



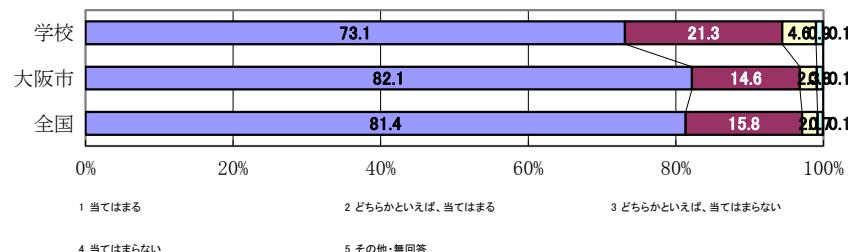
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

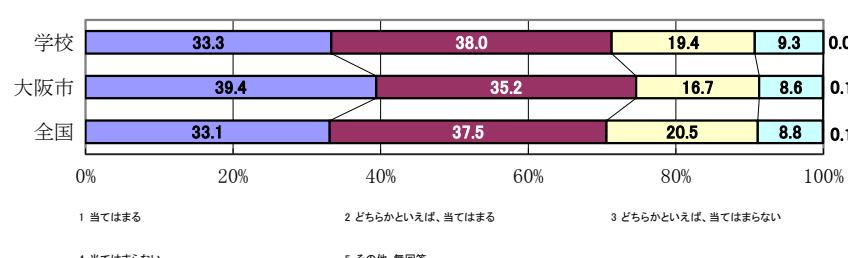
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



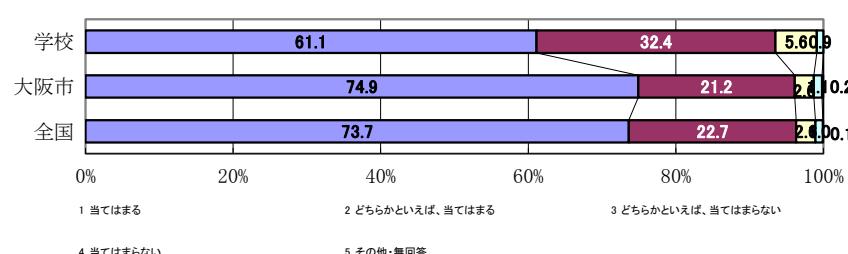
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



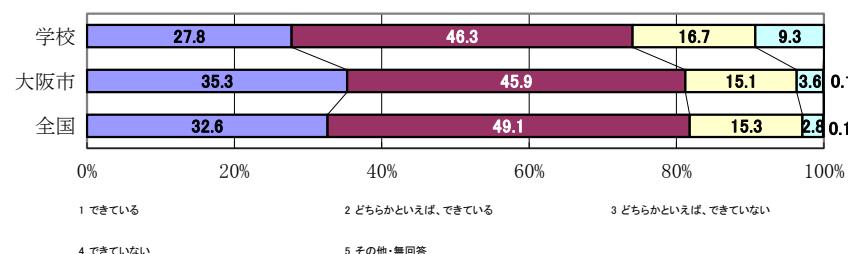
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



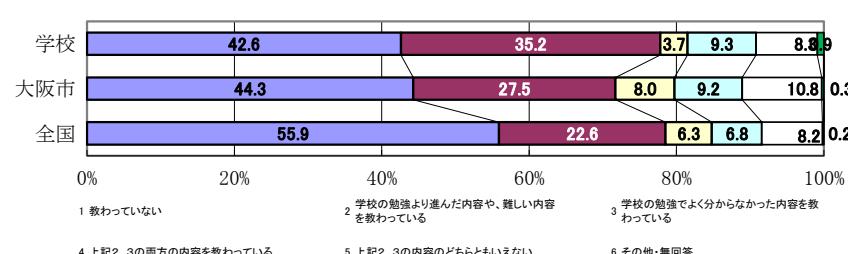
16

分からぬことやくわしく知りたいことがあつたときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



20

学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(オンライン授業の場合も含む)



## 学校質問より

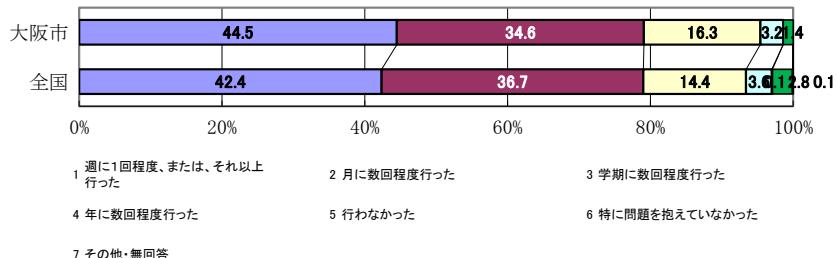
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

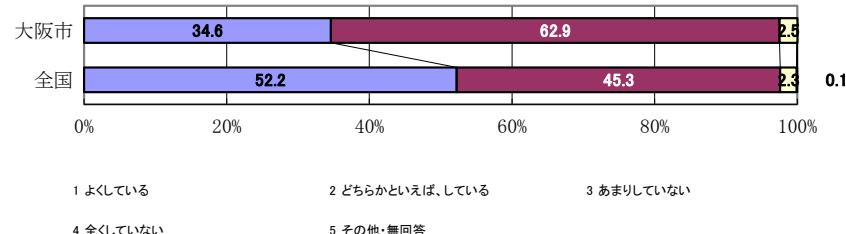
### 学校 「年に数回程度行った」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

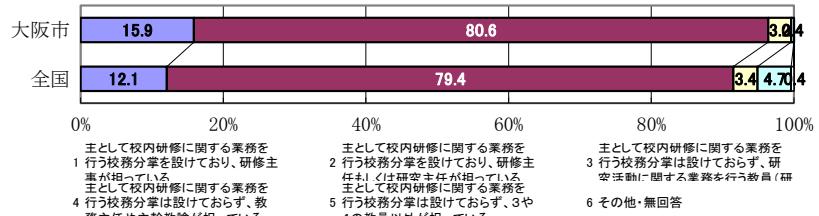
### 学校 「どちらかといえば、している」を選択



20

校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

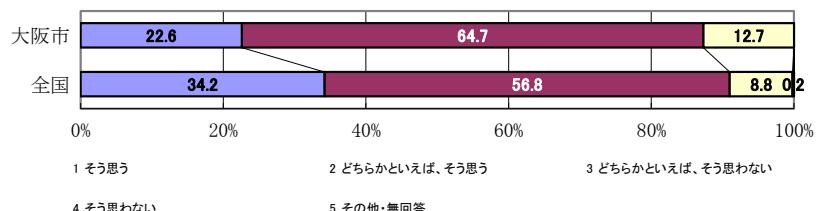
### 学校 「主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主任もしくは研究室主任が担当している」を選択



22

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしていく教職員が多いと思いますか

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

### 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択

